



公民館だより

野里公民館 ☎282-9766 令和5年2月号

2月の催し 【教養講座・地域講座は参加費・受講費無料です】

2月の教養講座1 歴史講座

少しでも気軽に参加してもらいたい
思いで、裏面を書きました。

大河ドラマ「どうする家康」にちなんだお話です。大河ドラマを観た時考えてしまう「なぜ」を詳しく説明してもらえたり、ドラマに表現されていない詳しい経緯や当時の風習を教えてもらうことによって、より深く大河ドラマを楽しめると思います。前回の「鎌倉殿の13人」は登場人物が多く人物の名前を覚えるのが大変でしたが、今回の「どうする家康」は話題がたくさんあり、菅原先生も楽しく出来るとおしゃっていました。

1. 日時 令和5年2月15日(水) 10:00から
2. 講師 菅原 美文先生(歴史研究者)
3. 右の写真は去年公民館和室に飾った5月飾りです。
今年も飾るので楽しみにしておいて下さい。



地域講座1 懐かしの歌で脳トレ

2月9日(木) 10:00~

講師 ルーチェ音楽療法

井垣 美奈 先生

脳を刺激しながら歌うことで、脳が活性化され、少し若返ったかなと嬉しくなれる講座です。人気講座の為、本年度は毎月開催する予定です。



地域講座2

移動児童センター

なかよしランド

2月22日(水) 10:00~

対象 就学前の幼児と保護者

講師 移動児童センター職員

おもちゃでの自由遊び、体操や手遊び、季節のわらべうた遊び、ミニシアターなどです。



地域講座3

リフレッシュヨガ(6)

2月26日(日) 10:00~

講師 大西 景子 先生

日曜日開催ですので、参加者は若い方から高齢者まで幅広く、初心者向けです。定員12名で先着順。お電話にてお申し込み下さい。4月から文化講座として開設しますので、この機会に是非体験してみてください。



野里子育て支援事業

「親子ベビー交流会」 社協野里支部主催

2月7日(火) 10:30 講師:スコット先生

2月14日(火) 10:30 講師:福永先生

対象 就学前の幼児とその保護者

内容 親子体操・絵本の読み聞かせ・手歌遊び・おもちゃ遊び・友達づくり・身近な相談など スコット先生の日は、幼児版【遊びの英会話】です。

日曜ヨガ文化講座生募集

4月より新文化講座として始めます。
毎月第4日曜午前 月1回500円
定員12名先着順(残り枠あと数名)
申込受付中 講師 大西 景子

バランスボール文化講座生募集

4月より新文化講座として始めます。
毎月水曜日午後 月2回1000円
定員10名先着順(残り枠あと数名)
申込受付中 講師 内山 絢子



公民館だより

野里公民館 ☎ 282-9766 令和5年2月号

今回紹介する本は、「日本の歴史 11巻 天下統一への道」です (集英社版・学習漫画)

学習漫画「日本の歴史」全20巻は、小・中学校学習指導要領にもとづき、「日本の国や社会の発展に大きなはたらきをした歴史上の人物や文化遺産に関心と理解をふかめる」ことに主眼を置いて編集されています。11巻は戦国大名どうしの戦いのなかで頭角をあらわした織田信長が天下統一を進め、豊臣秀吉によってそれが完成されるまでを取り上げられています。今回は天下統一の動きと徳川家康の関わりについて、館長の頭を整理しておきます。

1) 織田信長と美濃の統一

守護大名に変わって新しく登場した戦国大名のなかから、京都に上って天下を号令しようとする者が現れました。尾張(愛知県)の織田信長は、桶狭間の戦い(1560年)で今川義元をやぶり、大いに名を上げました。やがて信長は、一族やまわりの大名を従えて勢力をのぼし、尾張と美濃(岐阜県)を、統一し將軍の足利義昭を奉じて京都に上りました。こうして信長は、天下統一への道を歩み始めました。

2) 信長から秀吉へ

尾張(愛知県)の農民として生まれた秀吉は、武士を夢見る少年でした。秀吉は、尾張の戦国大名織田信長につかえると、戦いを勝ち抜いて、城の主になるまでに出世しました。そして本能寺の変(1582年)で信長が死ぬと、秀吉は、信長の重臣たちより先に、主君のかたき明智光秀を打ち取ることに成功し、信長のあとをつぐ立場を手に入れ、全国統一を進めました。

3) 秀吉から家康へ

1598年秀吉は62歳の生涯をとじました。秀吉の死後、豊臣の家臣は軍人肌の加藤清正と役人肌の石田三成の二派にわれて争いました。全国の大名は徳川家康の東軍か、石田三成の西軍のいずれかに属し戦いの日を迎えました。関ヶ原の戦い(1600年)に勝利した家康は石田三成・小西行長を切るとともに西軍の味方した大名の領地を取り上げ東軍の大名に分け与えました。

4) 天下統一への徳川家康の関わり

1542年三河国岡崎の城主松平宏忠の子として生まれました。当時の松平氏は今川氏と織田氏との両勢力に挟まれた弱小の大名で、今川方に属していました。6歳で織田信秀のもとに送られ、9歳で今川氏の人質となります。14歳で今川義元の館において元服し、16歳瀬名姫を娶ります。人質ながら、松平家の当主としてこのころから岡崎衆を率いて出陣したり、岡崎在城の家臣に定書を下したりしていました。1560年桶狭間の戦いの前日、敵中に孤立した大高の城に兵糧をいれることに成功し、武名を挙げました。大河ドラマ「どうする家康」の第一話はこのあたりまで。その後13年ぶりに岡崎城にかえり城主となった家康は織田信長と同盟を結び、三河(愛知県)を平定し東海地方に勢力を伸ばしました。本能寺の変で織田信長が死んで秀吉が勢力をもつと秀吉に従って天下統一を助めました。その後秀吉の命ずるままに住み慣れた東海地方を離れて江戸に移り関東6か国を支配する大名となりました。こうして着々と実力を蓄えました。秀吉がなくなると、五大老の筆頭として豊臣家やその家臣たちを支配下におさめ、反抗する石田三成らと関ヶ原で戦いました。この戦いに勝利した家康は、1603年右大臣・征夷大將軍となって、江戸に幕府を開きました。家康は、子の秀忠に2年で將軍職をゆずり、大御所として政治の実権をにぎり、大阪の役(1614年・1615年)をおこして、豊臣氏を滅ぼしました。こうして名実ともに幕府のもとを築いた家康は1616年75歳の生涯を終えました。